



平成 21 年 2 月 25 日

各 位

会 社 名 応用技術株式会社
代 表 者 代表取締役社長 谷 澤 寿 一
(JASDAQ・コード4356)
問 合 せ 先 常務取締役コーポレート推進本部長 前 原 夏 樹
電 話 番 号 06-6373-0440 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 8 月 25 日付当社「平成 20 年 12 月期中間決算短信」にて発表いたしました平成 20 年 12 月期における連結・個別業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成 20 年 12 月期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,640	125	134	108
今回修正予想 (B)	5,209	64	65	△49
増減額 (B-A)	△430	△60	△68	△157
増減率 (B-A) / (A)	△7.6%	△48.3%	△51.2%	—
前期実績 (平成 19 年 12 月期)	5,486	265	264	214

2. 平成 20 年 12 月期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,140	90	95	91
今回修正予想 (B)	2,644	△132	△127	△157
増減額 (B-A)	△495	△222	△222	△248
増減率 (B-A) / (A)	△15.8%	—	—	—
前期実績 (平成 19 年 12 月期)	2,846	93	96	113

3. 修正の理由

[個別業績]

売上高については、景況感の急速な悪化により、製造業向けソリューション関連業務の一部において顧客との交渉の結果、プロジェクトの延期等が発生し、新規事業のオンサイト高付加価値サービス提供業務が計画未達成となり、エンジニアリングサービス分野においても公共事業予算執行の抑制により受注が低水準で推移いたしました。この結果、当初予想を15.8%下回る見込みです。

また、営業利益及び経常利益につきましては、全社的な営業組織の新設や、北東アジア地域における事業活動の推進などの施策に伴う経費等販売費及び一般管理費が増加したこと、全般に受注が低水準で推移した結果、生産部門の稼働率が低下したことにより、当初予想を大幅に下回り営業損失及び経常損失を計上する見込みです。加えて、24百万円の繰延税金資産の取崩しを行ったため、当期純損失は157百万円となる見通しです。

[連結業績]

システムインテグレーション事業を実施している連結子会社である株式会社トランスコスモス・テクノロジーズの業績が、経営資源の集中効果等により、売上高については当初予想をやや上回り、利益面については当初予想を大幅に上回る予定ですが、個別業績の修正理由で記載しましたとおりソリューションサービス分野及びエンジニアリングサービス分野において当初予想を大幅に下回る結果となり、連結業績での売上高、営業利益、経常利益とも当初予想を大幅に下回り、当期純損失は49百万円となる見通しです。

なお、平成20年12月期の決算発表は、平成21年2月27日（金）を予定しています。

以 上